

シラバス使用の手引き

シラバスは本年度開講されている科目の授業内容や年間授業計画などを、担当者ごとに説明しているものです。履修登録する科目を決める際や、受講に際しての準備や確認のために役立ててください。

【記載例】

① 科目名	⑦ 【科目ナンバリング】
② 単位（総授業時間＋自習時間）：	
③ 対象学科：	
④ 授業形態：	学期： 必・選：
⑤ 履修科目：	
⑥ 担当者：	
◆ 授業の概要 ◆ 授業の到達目票 ◆ 学位授与の方針との関連 ◆ 授業計画の内容 ◆ 自習（事前・事後学習の内容） ◆ 履修上の注意 ◆ 成績評価方法・基準 ◆ 教科書 ◆ 参考書 ◆ 備考	

【科目情報の見かた】

- ① 科目名：授業科目名を記載しています。
- ② 単位（総授業時間＋自習時間）：単位数，授業で学ぶ時間数と授業外で自習が求められる時間数を記載しています。
- ※大学設置基準第 21 条に「1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とする」とあります。

形態	単位数	標準 学修時間	授業回数	1コマ当たりの 授業時間	総授業 時間	自習時間
演習	1 単位	45 時間	15 回	2 時間	30 時間	15 時間（授業 1 回あたり 1 時間）
講義	2 単位	90 時間	15 回	2 時間	30 時間	60 時間（授業 1 回あたり 4 時間）
実験・ 実習	1 単位	45 時間	15 回	3 時間	45 時間	教員の設定する時間

- ③ 対象学科：対象の学科・専攻，学年を記載しています。
- ④ 授業形態／学期／必・選：授業科目の形態を演習，講義，実験，実習，実技，集中で区分／授業科目の開講期間を前期，後期，通年で区分／必修科目，選択科目で区分し記載しています。

- ⑤ **履修科目**：大学共通教養科目，基幹科目，学科専攻科目，教職に関する科目，博物館に関する科目で区分し記載しています。
- ⑥ **担当者**：科目担当者の氏名を記載しています。
- ⑦ **科目ナンバリング**：各科目の学問上の分類やその科目が位置する学修の段階，順序等をあらわします。

大分類 中分類 小分類 科目番号 レベル 学年

A — **1** — **a** — **01** — **1** — **1**

大分類：学科・専攻の区分

A・・・服飾文化専攻
B・・・健康栄養学専攻
D・・・美術表現学科
K・・・大学共通

中分類：科目の区分

1・・・大学共通教養科目
2・・・基幹科目
3・・・専攻科目
4・・・教職に関する科目
5・・・博物館に関する科目

小分類：科目群

項 目	内 容
授業の概要	授業全体の内容を記載しています。
授業の到達目標	カリキュラム全体における当該科目の位置づけと，授業の到達目標，授業のねらいは何で，受講生が何を修得し何ができるようになることを目指しているのかを示しています。 ※学位授与の方針との関連：次のページを参照ください。
授業計画	到達目標を達成するために，具体的に何を学ぶのか，受講生が事前に内容を把握して授業に臨めるように，毎回の授業内容を記載しています。
自習（事前・事後学習）	事前：授業時間外の予習について記載しています。 事後：授業時間外の復習について記載しています。
履修上の注意	事前に獲得しておくべき知識・技能，履修した方がよい関係科目，或いは求められる受講姿勢について記載しています。
成績評価の方法・基準	最終的に成績評価がどのような形で行われるか，加味される要素を具体的に記載しています。 ただし，総授業回数の1／3を超えて欠席した場合は，その時点で不合格となりますので注意してください。
教科書および参考書	授業で使用するため，受講生が必ず購入しなければならないものを記載しています。 参考書籍がある場合，記載しています。

学位授与の方針との関連

家政学部家政学科 服飾文化専攻

<知識・理解>

1. 基礎的な知識・学習能力を身につけること。
2. 社会人として幅広い教養と専門的な知識を身につけること。
3. 家政学の体系を理解するとともに、被服分野における高度な専門知識を身につけ、その知識体系の意義と社会生活を関連付けて服飾文化を理解できること。

<汎用的技能>

4. 社会に貢献できる専門的技能・コミュニケーション能力・論理的思考力を身につけること。
5. 主に服飾産業における様々な分野で活躍するために必要となる技能・コミュニケーション能力・論理的思考力を身につけること。

<態度・主体性>

6. 社会で自律的に活動するために必要な自己教育力・倫理観・責任感・生涯学習力を身につけること。
7. 演習・実習・実験等の実践的授業を通して、主体性をもって社会で自律的に活動するために必要な倫理観・責任感・生涯学習力、チームワーク力を身につけること。

<統合的な学習経験と創造的思考力>

8. これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、社会で自律的に活動できる能力を身につけること。
9. これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決する能力を身につけること。

家政学部家政学科 健康栄養学専攻

<知識・理解>

1. 基礎的な知識・学習能力を身につけること。
2. 社会人としての幅広い教養と専門的な知識を身につけること。
3. 家政学の体系を理解するとともに、健康・栄養・食物分野における高度な専門知識を身につけ、その知識体系の意義と社会生活とを関連付けて理解できること。

<汎用的技能>

4. 社会に貢献できる専門的技能・コミュニケーション能力・論理的思考力を身につけること。
5. 医療・福祉領域における管理栄養士又は食品業界における健康・栄養の専門家として活躍するために必要な技能・コミュニケーション能力・論理的思考力を身につけること。

<態度・主体性>

6. 社会で自律的に活動するために必要な自己管理能力・倫理観・責任感・生涯学習能力を身につけること。
7. 演習・実習・実験等の実践的授業を通して、主体性をもって社会で自律的に活動するために必要な倫理観・責任感・生涯学習力、チームワーク力を身につけること。

<統合的な学習経験と創造的思考力>

8. これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、社会で自律的に活動できる能力を身につけること。
9. これまでに修得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決する能力を身につけること。

美術学部美術表現学科

<知識・理解>

1. 基本的な知識・学習能力を身につけること。
2. 美術の基本的な体系を理解すること。
3. 美術，工芸，デザイン，メディア芸術（マンガ・イラスト・アニメ・ゲーム）分野において，それぞれの専門知識と技能を身につけ，その知識や技能体系を，産業，文化，自然に関連付けて理解できること。

<汎用的技能>

4. 美術，工芸，デザイン，メディア芸術分野，製造，教育，行政に関する職業や創造及び地域貢献活動において，社会の問題に柔軟に対応することができる。
5. 地域社会の問題を解決するコミュニケーション能力・論理的思考力・創造力・表現力を身につける。

<態度・志向性>

6. 自律的・主体的に他と協働して地域社会の一員としての責任を果たすことができる。
7. 持続的な文化創造に寄与することができる意欲と倫理観・生涯学習力を身につける。

<統合的な学習経験と創造的思考力>

8. これまでに獲得した知識・技能・態度及び「地域創生演習」「卒業研究」等によって培った創造的思考力を総合的に活用することができる。
9. 自らが立てた新たな課題に，創造的思考力を適用し，主体的に解決する能力を身につける。

『実務経験のある教員による授業科目』一覧

〈家政学部家政学科 服飾文化専攻〉

科目名	担当者	科目名	担当者
キャリア開発Ⅰ	水谷 浩	被服学	菊地 紗代
キャリア開発Ⅱ	水谷 浩	スタートアップソーイング	菊地 紗代
キャリア開発Ⅳ	水谷 浩	アパレル製図法Ⅰ（平面）	菊地 紗代
消費生活論	水谷 浩	アパレル製図法Ⅱ（応用）	菊地 紗代
消費者調査法	水谷 浩	被服造形実習Ⅰ	菊地 紗代
ファッションビジネス実務実習	水谷 浩	被服造形実習Ⅱ	菊地 紗代
マーケティング論	水谷 浩	被服造形実習Ⅲ	菊地 紗代
起業・会社経営論	水谷 浩	アパレル生産実習	菊地 紗代
店舗運営論	水谷 浩	キャリア開発Ⅲ	内海 陽子
情報処理Ⅰ	水谷 浩	色彩学	内海 陽子
情報処理Ⅱ	水谷 浩	ファッションビジネス論	内海 陽子
家政特別演習（研修旅行）	水谷 浩	ファッション販売論	内海 陽子
服飾ビジネス特別演習	水谷 浩	コーディネート論	内海 陽子
専門研究Ⅰ	水谷 浩	食生活論	小野 真実
アパレルCADⅠ	佐藤 理恵	住居デザイン	山本 佳美
アパレルCADⅡ	佐藤 理恵		

〈家政学部家政学科 健康栄養学専攻〉

科目名	担当者	科目名	担当者
微生物学	黒川 優子	臨床栄養学Ⅰ	高橋 文
食品衛生学	黒川 優子	臨床栄養学Ⅱ	高橋 文
食生活論	小野 真実	臨床栄養指導論Ⅰ	高橋 文
栄養教育論	小野 真実	臨床栄養指導論Ⅱ	高橋 文
栄養指導論	小野 真実	臨床栄養学実習Ⅰ	高橋 文
栄養情報処理演習	小野 真実	臨床栄養学実習Ⅱ	高橋 文
栄養指導論実習	小野 真実	臨床栄養学臨地実習Ⅰ	高橋 文
健康栄養学総合演習Ⅰ	高橋 文・嶋原美智子	臨床栄養学臨地実習Ⅱ	高橋 文
健康栄養学総合演習Ⅱ	小野真実・高橋文・嶋原美智子	家政特別講義Ⅳ	高橋 文 他

健康栄養学総合演習Ⅲ	小野真実・高橋文・嶋原美智子	課題研究	小野 真実 高橋 文
給食経営学	嶋原 美智子	給食管理学	嶋原 美智子
給食管理実習Ⅰ	嶋原 美智子	学校栄養指導論	嶋原 美智子
給食管理実習Ⅱ	嶋原 美智子	学校食育概論	嶋原 美智子
給食管理臨地実習Ⅰ	嶋原 美智子	家政特別講義Ⅰ	嶋原 美智子
給食管理臨地実習Ⅱ	嶋原 美智子	家政特別講義Ⅱ	嶋原 美智子

〈美術学部美術表現学科〉

科目名	担当者	科目名	担当者
人形Ⅰ	福田 一実	卒業研究Ⅰ	山口 綾子
人形Ⅱ	福田 一実	卒業研究Ⅱ	山口 綾子
人形Ⅲ	福田 一実	マンガ・イラストⅠ	安孫子 三和
人形Ⅳ	福田 一実	マンガ・イラストⅡ	安孫子 三和
卒業研究Ⅰ	福田 一実	マンガ・イラストⅢ	安孫子 三和
卒業研究Ⅱ	福田 一実	マンガ・イラストⅣ	安孫子 三和
工芸基礎Ⅰ (プロダクト制作を含む。)	長谷部 嘉勝	製図Ⅰ	湯目 俊彦
工芸基礎Ⅱ	長谷部 嘉勝	製図Ⅱ	湯目 俊彦
漆芸Ⅰ	長谷部 嘉勝	図学Ⅰ	湯目 俊彦
漆芸Ⅱ	長谷部 嘉勝	図学Ⅱ	湯目 俊彦
漆芸Ⅲ	長谷部 嘉勝	インテリアデザインⅠ	湯目 俊彦
漆芸Ⅳ	長谷部 嘉勝	インテリアデザインⅡ	湯目 俊彦
卒業研究Ⅰ	長谷部 嘉勝	美術特別講義Ⅲ	横川 耕二
卒業研究Ⅱ	長谷部 嘉勝	美術特別講義Ⅳ	森岡 淳
工芸基礎Ⅰ (プロダクト制作を含む。)	山口 綾子	美術特別講義Ⅴ	三浦 誠
工芸基礎Ⅱ	山口 綾子	地域創生演習Ⅲ	三浦 忠士
ガラスアートⅠ	山口 綾子	地域創生演習Ⅳ	三浦 忠士
ガラスアートⅡ	山口 綾子	地域創生演習Ⅴ	三浦 忠士
ガラスアートⅢ	山口 綾子	地域創生演習Ⅵ	三浦 忠士
ガラスアートⅣ	山口 綾子	写真Ⅰ	飯沢 耕太郎
		写真Ⅱ	飯沢 耕太郎